

概要

一週間海南島で過ごしました。最初の四日間は乡村孔子学校のお部屋を借りていました。次の二日間は三亚に旅行に行きホテルに宿泊しました。最後の一日はまた乡村孔子学校にお世話になりました。

乡村孔子学校では、9時から2時間程度、子どもたち(15名程度)に日本語を教えていました。簡単なあいさつや、日常会話、日本の歌(赤とんぼ等)を教えました。英語も同時に教えました。

その後は王先生と中国語で会話したり歴史を学んだりしました。

夕方以降は王先生の家に行ったり、王先生の実家に行ったり、子ども達と遊んだりして過ごしました。子どもたちはとても元気で、圧倒させられました。夜は持ってきた本を読んだり、洗濯をしたり、音楽を聴いたり、日記を書いたり、子どもたちと一緒にテレビアニメを観たりしてのんびりと過ごしていました。部屋には冷蔵庫があり、扇風機と蚊取り線香も持ってきていただいて快適でした。ご飯は近くに毎日営業している小料理屋さんへ毎日行って食べていました。希望を言えば何でも作ってくれる素晴らしいお店でした。



中国本土でもお馴染みの馒头とミロ(3元)

チャーハン!とお茶(10元)

三亚では、観光地を巡りました。一日目に三亚湾(三亚湾)と南山寺に行き、二日目には鹿回头公园(鹿回頭公園)に行きました。王先生が手配してくださったホテルのすぐ裏には大东海(大東海)が広がっていて、海で長い時間遊びました!景色が最高で、ずっとここに居たいと思いました。



持っていくといいもの

日傘、帽子、日焼け止め・・・暑さ・日焼け対策に持っていった方が良いです。
本・・・小説などを持っていくのがおすすめです。のんびりと夜を過ごせました。
ノート・・・現地の方とコミュニケーションを取る際や、日記を書いたりするのも良い
と思います。



得たもの

語学力

語学力の面では本当に得たものが大きかったように思います。分からない言葉は漢字で書いてもらったり、辞書で調べたりしながら会話しました。現地の方は皆優しく、私が聞き取れないときには、易しい単語に置き換えてくれたりしました。

生活力

私は今まで一人で身の回りのことをこなすという経験をしたことが皆無だったため、洗濯や体調管理、掃除などの基本的なことから、農村の家庭料理、などを経験し、生活力を身につけることができたなと思います。



知識

私は日中の歴史についての知識が浅く、また知ろうという気持ちもあまりありませんでした。しかし、今回のこのプログラムで、日本軍の海南島侵略・虐殺の歴史を知りました。これにより亡くなられた方のお墓である千人墓にも行きました。農村の人は大変優しく、村全体で私を温かく受け入れてくださいましたが、ご年配の方々は、この日本軍の侵略を経験されている方もおり、虐殺されたという思いは忘れることはできないでしょう。過去は過去、今は今ですが、交流をしていくうえでは、過去の歴史を知ることは重要なことであるなど実感しました。



感想

最初はどのようなことかと思いましたが、一週間は本当にあっという間でした。日本語を教えたいという気持ちだけで海南島に渡りましたが、逆に私が現地の皆さまにたくさんのことを教わりました。私が滞在した場所は田舎の小さな農村で、不安もありましたが、現地の方々と交流していくうちに、とても温かいアットホームな雰囲気リラックスして生活することができました。海南島での経験を生かし、今後の中国語の勉学に励みたいと思います。

現地コーディネーターの王老师には現地のあらゆる場面で大変お世話になりました。そしてCECボランティアネットワークの池頭さんには出発前、そして帰国後、お世話になりました。本当にありがとうございました。

